

## ■ 理由 1：信頼できない企業が一定数存在するから（6 名）

Aさん（20歳 男性）

オンライン面接で仕事内容を詳しく聞いても「とりあえずやってみればわかるよ」と曖昧に流され、不透明さに不安を感じました。長期で関わるには情報が少なすぎました。

Bさん（21歳 女性）

面接担当者が毎回違う、伝える内容も統一されていませんでした。学生相手だからと適当に扱われているように感じ、信頼しきれませんでした。

Cさん（19歳 女性）

契約条件をメールでお願いしたのに、文面で送られず口頭説明のみで済ましたことがあります。細かい部分の雑さが不安を生んでしまいます。

Dさん（22歳 男性）

口コミで「長期インターン生をすぐ入れ替える文化がある」といったものを見かけ、企業体質への不信感が強くなりました。実態が分からるのは怖いです。

Eさん（20歳 男性）

面接後の連絡が極端に遅かったり、日程調整がギリギリになったりと、学生とのコミュニケーションを軽視している印象を受けました。

Fさん（21歳 女性）

SNS や求人ページで「裁量が大きい」「圧倒的成長」といった過剰な表現が多く、実態との乖離がありそうで応募を迷いました。誇張したアピールは逆効果だと思います。

## ■ 理由 2：目的意識を持たずに参加してしまうから（6 名）

Gさん（18歳 男性）

「ガクチカになる」と聞いて勢いで応募しましたが、何を身につけたいか考えていなかったため、途中で業務の意味を見失いました。

Hさん（20歳 女性）

自己分析を深くしないまま参加したため、自分の興味と業務内容にギャップがあり、やる気の波が激しくなりました。目的設定は大事だと痛感しました。

Iさん（21歳 男性）

周りの友人がやっていたので流れで応募しましたが、スキル獲得の意図が曖昧で途中からモチベーションが低下しました。

Jさん（19歳 女性）

「とりあえず経験しておけば就活に役立つだろう」と思って参加しましたが、明確な目標がなかったため、成果を出すための行動ができませんでした。

Kさん（22歳 男性）

ガクチカ目的で始めましたが、何を成果として残したいかを考えていなかったので、活動内容に一貫性が生まれませんでした。

Lさん（20歳 女性）

周囲に影響されて慌てて応募しましたが、目的が曖昧だったため、業務の優先順位をうまく決められず迷いました。

■ 理由 3：大手企業や知名度にこだわりすぎるから（6名）

Mさん（21歳 女性）

知名度のある会社ばかりを優先して応募していましたが、実際にはベンチャーの方が責任ある仕事を任せてもらえると知り、視野が狭かったと感じました。

Nさん（18歳 男性）

「有名企業じゃないと就活で評価されない」と思い込んでいましたが、長期インターンは内容の深さが大事だと後で気づきました。

Oさん（22歳 女性）

大手志向で選んだ企業では作業的な業務ばかりで、成長実感が薄かったです。企業規模にこだわりすぎていました。

Pさん（20歳 男性）

ベンチャーは不安という理由で避けていましたが、実際には小規模な企業の方が教育が丁寧だったり裁量が大きかったりすることを知り、もったいない選び方をしていたと思います。

Qさん（19歳 女性）

企業名ばかり見て、中身の業務をしっかり比較していませんでした。結果として、自分が求める経験とズレた環境を選んでしまいました。

Rさん（21歳 男性）

「知名度＝価値」と思っていましたが、長期インターンでは成果の内容こそが重要で、ブランド志向は失敗だったと感じています。

■ 理由 4：受け身の姿勢で取り組んてしまうから（6名）

Sさん（22歳 女性）

指示されるのを待つ癖が抜けず、周りのインターン生と比較して成長スピードが遅いと感じました。長期インターンは能動性が求められます。

Tさん（20歳 男性）

分からぬことがあるても自分から質問できず、抱え込んでしまいました。受け身だと仕事が進まず、信頼も得にくく痛感しました。

Uさん（18歳 女性）

「教えてもらえるだろう」という気持ちでスタートした結果、自走力が身につかず、社員さんとの温度差を強く感じてしまいました。

Vさん（21歳 男性）

積極的に提案する文化なのに、自分は様子を見るばかりで動けませんでした。受け身だと成長機会を逃すだけだと実感しました。

Wさん（19歳 女性）

タスクが与えられるのを待ってしまい、結果的に業務量が少なくなり、学べることも限られました。主体性が必要だと感じました。

Xさん（22歳 男性）

最初の一歩を踏み出すのが遅く、チームに貢献できるまでに時間がかかりました。能動的に動けばもっと成果が出せたと思います。

■ 理由 5：短期間で辞めてしまうから（6名）

Yさん（18歳 女性）

1～2週間で辞める学生が多く、企業側も毎回教育し直す必要があり、環境的に安定していない印象を受けました。

Zさん（20歳 男性）

自分も1ヶ月ほどで辞めた経験がありますが、企業の負担を考えると非常に申し訳なかったです。短期離脱は双方にとってデメリットが大きいです。

AAさん（22歳 女性）

「思っていた業務と違う」という理由だけで辞める人が多く、マッチングの重要性を強く感じました。

ABさん（21歳 男性）

短期間で離脱する学生が続くと、企業側の教育コストが無駄になり、インターン制度そのものへの信頼も下がってしまいます。

ACさん（19歳 女性）

研修だけ受けて辞めてしまう学生がいると聞き、企業側の育成体制に負担がかかるなどを実感しました。

ADさん（20歳 男性）

長期インターンは継続してこそ価値があるのに、すぐ辞める学生が多いことで企業も慎重になり、良い環境が提供されにくくなると思います。

■ その他（3名）

AEさん（22歳 男性）

大学の授業やゼミが忙しくなり、どうしても勤務時間を確保できず継続が困難になりました。

AFさん（18歳 女性）

自宅からオフィスが遠く、移動時間が負担となり続けられませんでした。長期インターンは通いやすさも重要なと感じました。

AGさん（21歳 男性）

体調面で無理がきかず、勤務ペースについていけないことがありました。継続前提の環境では体力も重要なと感じています。